マーケットデイリー
（No.2,408）
〈マーケットレポートNo.4,689〉
2016年3月1日 情報提供資料
資産形成なら SMAM

今日のトピック

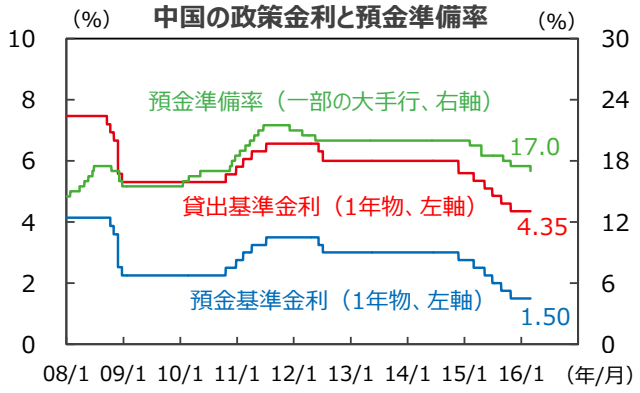
中国が預金準備率を引き下げ

ポイント1 約4カ月ぶりの金融緩和

景気の下振れに対処

■中国人民銀行（中央銀行）は2月29日、預金準備率を引き下げると発表しました。大手行の場合、3月1日から0.5%引き下げられ、17.0%が適用されます。昨年10月の預金・貸出基準金利と預金準備率の同時引き下げ以来の金融緩和です。

■預金準備率の引き下げは、金融機関の融資余力を高め、中小企業の資金繰りを支援する効果があります。足元で景気の下振れ圧力が高まっていることに対応した措置と見られます。金融緩和は、一方では人民元安の要因ともなりますが、景気の下支えを優先させたと見られます。

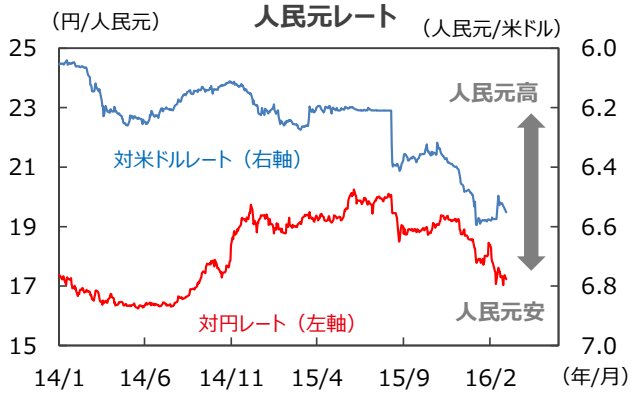


（注）データは2008年1月1日～2016年3月1日。
（出所）Bloomberg L.P.などのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 世界経済の減速に歯止め

G20議長国として率先して行動

■中国は、2月26日～27日に自国で開催した、20カ国・地域（G20）財務相・中央銀行総裁会議で、「（世界経済の減速を阻止するために）すべての政策手段を用いる」との共同声明を議長国としてまとめました。不安の連鎖に歯止めをかけ、金融市場の安定化に率先して動き、リーダーシップを発揮する狙いもあったと見られます。



（注）データは2014年1月1日～2016年2月29日。
（出所）Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 金融・財政政策の積極方針で、年後半景気は持ち直しへ

■5日から今年の政策目標を決める全人代（全国人民代表大会）が始まる予定です。政府は、6.5%～7.0%の経済成長率目標を決定すると見られます。一方、過剰生産能力を削減する構造改革の推進を、今期の5カ年計画の柱に据えることも決定し、成長と構造改革の両立を目指す方針です。

■全人代では目標達成のために、金融と財政で景気を積極的に支える方針が採用されそうです。政策金利の引き下げを含む追加緩和や、財政赤字の拡大を容認し、成長産業やハイテク製造業の支援、業界再編などが進められる見通しです。中国の景気はこうした政策対応によって、年後半に持ち直すことが期待されます。

ここもチェック!
2016年 2月 26日 最近の指標から見る中国経済（2016年2月）
2016年 1月 14日 中国は「住宅在庫の削減」を目標へ（中国）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。